



入口で寄附者を紹介



子ども食堂へ Let's GO!!



「心」も「おなか」もいっぱいになるホットスペースをめざしていきたい

「おいしかった」、「また食べに来ます」などの一言がスタッフの励みになっています。また、多方面からのご支援・ご協力により、活動を継続することができていることに、あらためて、この場をお借りして心から感謝の気持ちをお伝えしたいです。

そして、国籍や年齢、障害の有無など関係なく、ここに集った人々はスタッフも含めて、みんな子ども食堂の仲間です。

毎回来られなくても、なにか気になる実家のような存在でありたいと思っています。また、子どもたちだけでなく、地域の皆さんの居場所として、だいたい根付いてきたように思います。これからも、「心」も「おなか」もいっぱいになるホットスペースをめざしていきたいです。

七栄地区だけでなく、市内には子ども食堂のような存在を必要としている人たちが、他にもたくさんいると思います。

この活動が広がっていき、多くの市民の皆さまのご理解とご協力を頂戴できますようお願い申し上げますとともに、今後ともあたたかく見守っていただければと思います。

(宮本さん・高橋さん)



子ども食堂は、無料または安価で手作りの栄養のある温かい食事を提供する場所で、ボランティアで運営されています。経済的理由や家庭の事情により、共食の困難な子どもが安心して過ごせる場所としての役割だけでなく、今では子どもたちや親子連れ、高齢者、外国人、障害をお持ちの人など様々な人が集まる「多世代・異文化交流の場」となっています。

今月号では、市内で活動されている「子ども食堂・とみさと」取材させていただきました。

参加者の声

おいしいご飯も食べれて *Fun place!*
楽しい居場所になりました!

友達である二木さんの誘いで参加しました。主人が亡くなり一人でいたところだったので誘ってもらえて嬉しく思います。コロナにより行くところもなかったのですが、子ども達の顔も見ながら、おいしいご飯も食べれて、楽しい居場所になりました。



二木さんと幸田さん

参加者の声

7年間継続してるのに驚き! *Surprise!*
もっと早く知りたかったです!

市民活動サポートセンターの団体交流会で「子ども食堂・とみさと」のことを知りました。予約制にせず、活動を7年間続けていらっしゃる感じがすごいと思います。産前や産後に食事を作るのが大変だったので、もっと早く知ってたら良かったと思いました。



Yさんご家族

令和4年度富里市市民活動感謝状 受賞団体

子ども食堂・とみさと



高橋さん 代表の宮本さん

活動のきっかけは駐車場での立ち話

かねてより、それぞれの立場で子育て支援に携わっていた宮本さんと高橋さん。活動のきっかけは、駐車場での立ち話。様々な事情で食に関する課題を抱える子どもたちの支援がすでに各地で始まっていることを知ったお二人は、自分たちも富里の子どもたちを応援したいという純粋な気持ちで立ち上げたそうです。

現在、活動を始めて7年目。50人前後の子どもたちや親子連れ、高齢者、外国人、障害をお持ちの人などが来てくれています。

活動の大変なこととしては、参加にあたり予約制としていないため、参加人数が天候などに大きく左右されることで、過去には雪が降った日で参加者0人という日もあったそうです。

また、今では中部ふれあいセンターでの飲食が可能となりましたが、以前は新型コロナウイルス感染症対策として、食事の提供を「お弁当配布」や「食材提供」として、活動形態に大きく影響を受けてしまいました。

現在は、行動制限もなくなりましたが、引き続き感染対策をしながら、館内で食事を提供できることに喜びを感じていると話してくださいました。



ボランティア参加・見学・食材の提供など興味のある人は、ぜひご連絡ください。
(代表) 宮本 ☎ 090-1531-9101
(事務局) 高橋 ☎ 090-2745-5430

多くの寄附によりお土産となる場合も♪



お米

お菓子

ご支援・ご協力ありがとうございます!

子ども食堂・とみさと

予約不要です!お気軽にお越しください♪

| 開催場所 | 開催日時 | 利用料 |
|---------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|
| 中部ふれあいセンター (七栄 448-10) | 毎月 第2・第4日曜日 11:30 ~ 13:30 | ○子ども(高校生以下)、障害のある人: 無料 ○大人: 200円 |

